
第 323 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2015 年 7 月 4 日(土) 18 時 00 分～19 時 00 分

場 所: 創立 30 周年記念棟大会議室「常念岳」

演 者: 栗本 康夫 氏(神戸市立医療センター中央病院眼科・部長)

タイトル: iPS を用いた網膜の再生医療

長年にわたり、成熟した哺乳類の中樞神経は再生しないと信じられ、眼科領域においても網膜の再生は不可能と考えられてきた。しかし、近年の幹細胞研究の進歩によりかつての常識は覆され、網膜の再生医療が実現しようとしている。網膜再生医療で最初の標的となるのは網膜色素上皮(RPE)である。RPEは神経網膜と同じ神経上皮由来ではあるものの神経細胞では無いが、RPEの再生医療が成功すれば、同様の方法論をもって神経網膜の再生へと治療開発が進んでいくと思われる。加齢黄斑変性(AMD)はRPEの加齢劣化に起因する疾患であるが、現行の標準治療は滲出型AMDに対する新生血管の抑制のみで対症療法の域を出ない。RPEそのものを治療することができればAMDの根治的治療になる可能性があるが、RPE移植治療は自家移植を行うには手術侵襲が大きく、他家移植には倫理的あるいは免疫学的問題が伴い、一般的治療とはなり得てない。これらの問題を解決するために、我々はiPS細胞より作製したRPE細胞シートを用いて滲出型AMDのRPE移植治療の臨床研究を開始した。世界初のiPS細胞治療である本研究は安全性の確認を主目的としている。既に第一例目の移植手術に成功し、術後半年を経過した現時点で特記すべき有害事象は認めていない。また、iPS細胞を用いた視細胞シート移植も動物実験で一定の成果を収めつつあり、RPEに続く臨床応用を目指している。

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

演者略歴:

- 1986年 京都大学医学部卒業、京都大学眼科入局
1988年 京都大学大学院医学研究科博士課程
1992年 国立京都病院眼科医師
1993年 神戸市立中央市民病院 眼科副医長
1997年 信州大学医学部眼科学教室 講師
2000年 ハーバード大学博士研究員
2002年 信州大学医学部眼科学教室 准教授
2003年 神戸市立中央市民病院 眼科部長代行
先端医療センター 視覚機能再生研究チームディレクター (兼任)
2006年 神戸市立中央市民病院(現 神戸市立医療センター中央市民病院)
眼科部長
京都大学医学部 臨床教授 (兼任)
2008年 先端医療センター病院 眼科客員部長(兼任)
2011年 先端医療センター病院 眼科統括部長(兼任)
理化学研究所神戸研究所 客員研究員(兼任)
2013年 神戸大学医学部 臨床教授 (兼任)

現在に至る

担当:硬組織疾患制御再建学講座 高橋 直之
眼科学 太田 浩一